なんぶ

＜発　行＞
南　部　合　唱　団
連絡先：〒214-0022
川崎市多摩区堰
1-22-1-416
TEL:044-833-6220

☆東6月21日・22日　福島被災地視察ツアー

東日本大震災の被災者としっかり手を繋ごう！

書記長　大寿美　幸子

時事通信の5月の世論調査では、原発を徐々になくす49・3％、なるべく早くなくす24・7％、直ちになくす10・3％で、84％の人が原発ゼロを望んでいると報じました。そうしたなか、福島第一原発では、62種類の放射能性物質を除去するとされる「アルプス」が、トラブル続きで全面停止。そして今月、安全性に不安を残したまま、海に地下水放出が始まりました。

5月21日、関西電力大飯原発3、4号機の再稼働差し止めを求めた訴訟で福井地裁は、運転差し止めを命じました。裁判長は、人の生命を基礎とする人格権をもっとも重視し、「これを超える価値を他に見出すことはできない」とし「国富の喪失」とは「豊かな国土とそこに国民が根を下ろして生活していること」を失うことだ、と強調しました。

被災地宮城で開催されるうたごえ祭典組曲「希い」の一つひとつの曲には、被災者どうし、被災者と私たちがともに歩む毅然とした姿と、人へのそして自然への溢れる様な思いを感じる事ができます。

6月21日、22日の福島被災地視察ツアーでは、仮設住宅での被災者との「うたう会」、そして被災地東北から北関東へ歩き続ける平和行進との交流もあります。憲法を歌い続けてきた南部合唱団にとって、この二日間は大きな意味あるものになると思います。

日うた祭典inみやぎをめざし、東日本郷土講習会、南部合唱発表会、東京都合唱発表会などの成功に力を尽くしましょう。福島の人たちの心を持って、秋再び宮城の被災地へ！！

被災者としっかり手を繋ぎ合うために！！

（福島視察の詳細7面）

浪江のメインストリート

南部合唱団創立
５５周年記念
レセプション
日時：８月２３日
場所：小山台会館
（詳細別途お知らせ）

☆東日本合唱講習会

みやぎ祭典につながる濃い講習会！

ソプラノ　加山　明美

東日本合唱講習会が南部の地で開催されました。参加人数が１６６名と、ここ数年では最高の参加者となりました。講師は鶴岡恵先生を始め「ももたらう」の皆さんから小編成の楽しさをと計画しましたが、人数が多すぎてじっくりとはいかなかったものの、短時間でも先生方の個性が発揮された中身の濃い講習となりました。

また、男声・女声に分かれた講習では、羽田混声の指導者、六本木合唱団のテノールのパートリーダーでもある高田慮来先生を招き、男声の発声をじっくりと教わったようです。今回、みやぎ祭典で歌われる「希い（ねがい）」の中から3章・4章を講習会で取り上げています。南部地域からは合唱団を含め25名が参加しました。みやぎ祭典での全国合同が楽しみになるような中身の濃い講習会でした。（4面詳報）

○5月24日・25日○世田谷・等々力・玉川区民会館・ホール

高田慮来さんの講習